



2023年1月10日

各位

会社名 株式会社TBグループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎
コード番号：6775 東証スタンダード
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡 孝一
(TEL 03-5684-2321)

(訂正) 「第三者割当による新株式及び第2回新株予約権の発行並びに
主要株主の異動に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ

当社が、2023年1月6日に公表いたしました、「第三者割当による新株式及び第2回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」の記載内容に一部誤りがございましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 1 ページ

【訂正前】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

1. 募集の概要

<本新株式の募集の概要>

(1) 払込期日	2023年1月23日
(2) 発行新株式数	2,127,600株
(3) 発行価額	1株につき141円
(4) 調達資金の額	299,991,600円 発行諸費用の概算額を差し引いた手取り概算額については、「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期(1) 調達する資金の額」をご参照下さい。
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、次の者に割り当てます。 <u>プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合</u> 1,418,400株 株式会社ホスピタルネット 709,200株
(6) その他	上記各号については、金融商品取引法による届出の効力が発生することを条件とします。

【訂正後】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

1. 募集の概要

<本新株式の募集の概要>

(1) 払込期日	2023年1月23日
(2) 発行新株式数	2,127,600株
(3) 発行価額	1株につき141円
(4) 調達資金の額	299,991,600円 発行諸費用の概算額を差し引いた手取り概算額については、「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期(1) 調達する資金の額」をご参照下さい。
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、次の者に割り当てます。 プログレシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合 1,418,400株 株式会社ホスピタルネット 709,200株
(6) その他	上記各号については、金融商品取引法による届出の効力が発生することを条件とします。

2. 2ページ

【訂正前】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

1. 募集の概要

<本新株予約権の募集の概要>

(1) 割当日	2023年1月23日
(2) 新株予約権の総数	13,513個(1個につき100株)
(3) 発行価額	1個につき204円(1株につき2.04円)
(4) 当該発行による潜在株式数	1,351,300株
(5) 資金調達の額	202,749,052円 (内訳) ・新株予約権発行分 2,756,652円 ・新株予約権行使分 199,992,400円 発行諸費用を差し引いた手取概算額については、「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期(1) 調達する資金の額」をご参照ください。
(6) 行使価額	1株につき148円
(7) 割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、次の者に割り当てます。 プログレシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合 13,513個

(後略)

【訂正後】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

1. 募集の概要

<本新株予約権の募集の概要>

(1) 割当日	2023年1月23日
(2) 新株予約権の総数	13,513個(1個につき100株)
(3) 発行価額	1個につき204円(1株につき2.04円)
(4) 当該発行による潜在株式数	1,351,300株
(5) 資金調達の額	202,749,052円 (内訳) ・新株予約権発行分 2,756,652円 ・新株予約権行使分 199,992,400円 発行諸費用を差し引いた手取概算額については、「3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期(1) 調達する資金の額」をご参照ください。
(6) 行使価額	1株につき148円
(7) 割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、次の者に割り当てます。 <u>プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合</u> 13,513個

(後略)

3. 11 ページ

【訂正前】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

5. 発行条件等の合理性

(1) 発行価格の算定根拠及び発行条件の合理性に関する考え方

①新株式

本新株式における発行価額は、割当予定先との協議の結果、本新株式に係る取締役会決議日の直前取引日(2023年1月5日)の株式会社東京証券取引所スタンダード市場における当社株式の終値148円を基準とし、直前取引日の終値である148円から4.73%ディスカウントした141円といたしました。

上記発行価額は、直近の市場価額に基づくものが合理的であると判断したこと及び、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」(2010年4月1日付 以下、「日証協指針」といいます。)によると、第三者割当により株式の発行を行う場合には、その払込金額は原則として株式の発行に係る取締役会決議の直前日の価額(直前日における売買がない場合は、当該直前日から遡った直近日の価額)を基準として決定することとされているため、本件第三者割当の発行価額を決定する際にも、本件第三者割当に係る取締役会決議の直前営業日の終値を基準といたしました。

また、発行価額のディスカウント率を4.73%とした経緯としましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10億82百万円(前年同期比13.0%減)、営業損失1億59百万円(前年同期は1億6百万円の営業損失、52百万円の悪化)、経常損失1億39百万円(前年同期は67百万円の経常損失、72百万円の悪化)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億41百万円(前年同期は74百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失、66百万円の悪化)と前年同期比において悪化していることを勘案し、プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合の業務執行組合員であるモダンパス合同会社からの発行価額における5%程度のディスカウントの打診を受け、当社取締役会にて検討し、日証協指針に準拠する10%を超えない範囲で、相応の率をディスカウントすること

はやむを得ないと判断し、発行価額について割当予定先のディスカウントに対する要望を受け入れた結果によるものとなります。

なお、当該発行価額は、本件第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前取引日の終値である 148 円から 4.73%のディスカウント、当該直前取引日までの1カ月間の終値平均である 155 円から 9.03%のディスカウント、当該直近取引日までの3カ月間の終値平均である 158 円から 10.76%のディスカウント、当該直近取引日までの6か月間の終値平均である 160 円から 11.88%のディスカウントとなっております。

以上のことから、当社取締役会においては、今回の資金調達のための、他の調達手段の選択肢を考慮するとともに、本新株式の発行条件について十分に討議、検討を行い、本新株式の発行価額は、適正かつ妥当な価額であり、有利発行には該当しないものと判断いたしました。なお、株式会社ホスピタルネットは関連当事者に該当しますが、ディスカウント率についても日証協指針に基づいても有利発行に範囲内であるため合理的かつ適法であり、新株式というリスクマネーを払い込んでいただくため、プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合と同等程度のディスカウントは妥当であると当社取締役において判断しております。

(後略)

【訂正後】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

5. 発行条件等の合理性

(1) 発行価格の算定根拠及び発行条件の合理性に関する考え方

①新株式

本新株式における発行価額は、割当予定先との協議の結果、本新株式に係る取締役会決議日の直前取引日(2023年1月5日)の株式会社東京証券取引所スタンダード市場における当社株式の終値148円を基準とし、直前取引日の終値である148円から4.73%ディスカウントした141円といたしました。

上記発行価額は、直近の市場価額に基づくものが合理的であると判断したこと及び、日本証券業協会「第三者割当増資の取扱いに関する指針」(2010年4月1日付以下、「日証協指針」といいます。)によると、第三者割当により株式の発行を行う場合には、その払込金額は原則として株式の発行に係る取締役会決議の直前日の価額(直前日における売買がない場合は、当該直前日から遡った直近日の価額)を基準として決定することとされているため、本件第三者割当の発行価額を決定する際にも、本件第三者割当に係る取締役会決議の直前営業日の終値を基準といたしました。

また、発行価額のディスカウント率を4.73%とした経緯としましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10億82百万円(前年同期比13.0%減)、営業損失1億59百万円(前年同期は1億6百万円の営業損失、52百万円の悪化)、経常損失1億39百万円(前年同期は67百万円の経常損失、72百万円の悪化)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億41百万円(前年同期は74百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失、66百万円の悪化)と前年同期比において悪化していることを勘案し、プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合の業務執行組合員であるモダンパス合同会社からの発行価額における5%程度のディスカウントの打診を受け、当社取締役会にて検討し、日証協指針に準拠する10%を超えない範囲で、相応の率をディスカウントすることははやむを得ないと判断し、発行価額について割当予定先のディスカウントに対する要望を受け入れた結果によるものとなります。

なお、当該発行価額は、本件第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前取引日の終値である 148 円から 4.73%のディスカウント、当該直前取引日までの1カ月間の終値平均である 155 円から 9.03%のディスカウント、当該直近取引日までの3カ月間の終値平均である 158 円から 10.76%のディスカウント、当該直近取引日までの6か月間の終値平均である 160 円から 11.88%のディスカウントとなっております。

以上のことから、当社取締役会においては、今回の資金調達の目的、他の調達手段の

選択肢を考慮するとともに、本新株式の発行条件について十分に討議、検討を行い、本新株式の発行価額は、適正かつ妥当な価額であり、有利発行には該当しないものと判断いたしました。なお、株式会社ホスピタルネットは関連当事者に該当しますが、ディスカウント率についても日証協指針に基づいても有利発行に範囲内であるため合理的かつ適法であり、新株式というリスクマネーを払い込んでいただくため、プログレッシブ・インテリジェンス 2号投資事業有限責任組合と同等程度のディスカウントは妥当であると当社取締役において判断しております。

(後略)

4. 15 ページ

【訂正前】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

6. 割当予定先の選定理由等

(2) 割当予定先を選定した理由

① プログレッシブ・インテリジェンス 2号投資事業有限責任組合

本新株の割当予定先であるプログレッシブ・インテリジェンス 2号投資事業有限責任組合（以下、「プログレッシブ 2号ファンド」といいます。）は、当社が2019年10月4日に実施した第三者割当（第2回無担保転換社債型新株予約権付社債および第1回新株予約権）の引受先であるプログレッシブ・インテリジェンス投資事業有限責任組合の業務執行組合員であるモダンパス合同会社（所在地：東京都千代田区一番町22番地3 代表者：代表取締役 勝山 博文）が新たに組成したファンドです。

【訂正後】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

6. 割当予定先の選定理由等

(2) 割当予定先を選定した理由

① プログレッシブ・インテリジェンス 2号投資事業有限責任組合

本新株の割当予定先であるプログレッシブ・インテリジェンス 2号投資事業有限責任組合（以下、「プログレッシブ 2号ファンド」といいます。）は、当社が2019年10月4日に実施した第三者割当（第2回無担保転換社債型新株予約権付社債および第1回新株予約権）の引受先であるプログレッシブ・インテリジェンス投資事業有限責任組合の業務執行組合員であるモダンパス合同会社（所在地：東京都千代田区一番町22番地3 代表者：代表取締役 勝山 博文）が新たに組成したファンドです。

5. 16 ページ

【訂正前】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

6. 割当予定先の選定理由等

(3) 割当予定先の保有方針

① プログレッシブ・インテリジェンス 2号投資事業有限責任組合

割当予定先であるプログレッシブ 2号ファンドの業務執行組合員であるモダンパス合同会社とは、保有方針に関して特段の取決めをしておりますが、純投資を目的としており、本第三者割当により交付を受けることとなる当社普通株式につきましては、市場動向を勘案しながら売却する方針と本第三者割当の引受を応諾いただいた2022年11月末に口頭で伺っております。

(後略)

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

① プログレッシブ・インテリジェンス 2号投資事業有限責任組合

当社は、本第三者割当の引受に係る払込みについて、割当予定先の組合出資金から

払込みを行うとの説明を受けております。当社は、割当予定先の払込みに要する財産の存在につきまして、割当予定先の銀行口座が開設準備中であることから、割当予定先の業務執行組合員であるモダンパス合同会社から2022年12月22日に提出されたモダンパス合同会社の預り口名義の普通預金通帳（以下、「預り口座」という。）の写しを取得し割当予定先の業務執行組合員であるモダンパス合同会社が管理する預り口座に本新株式の払込金額（約200百万円）及び本新株予約権の発行に係る払込金額（約3百万円）に相当する203百万円を上回る残高が2022年12月22日時点で確保されていることを確認しております。当社はモダンパス合同会社に対して預り口座で管理している資金は本新株式及び本新株予約権の発行に係る払込で使用される出資金であることを、2022年12月22日にモダンパス合同会社の代表取締役である勝山博文氏より当社常務取締役経営管理本部長である信岡孝一が口頭にて確認するとともに、預り口座に振り込まれた資金が割当予定先の出資者の自己資金による振り込みであることを確認いたしました。

（後略）

【訂正後】

1. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

6. 割当予定先の選定理由等

(3) 割当予定先の保有方針

① プログレシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合

割当予定先であるプログレシブ2号ファンドの業務執行組合員であるモダンパス合同会社とは、保有方針に関して特段の取決めをしておりますが、純投資を目的としており、本第三者割当により交付を受けることとなる当社普通株式につきましては、市場動向を勘案しながら売却する方針と本第三者割当の引受を応諾いただいた2022年11月末に口頭で伺っております。

（後略）

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

① プログレシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合

当社は、本第三者割当の引受に係る払込みについて、割当予定先の組合出資金から払込みを行うとの説明を受けております。当社は、割当予定先の払込みに要する財産の存在につきまして、割当予定先の銀行口座が開設準備中であることから、割当予定先の業務執行組合員であるモダンパス合同会社から2022年12月22日に提出されたモダンパス合同会社の預り口名義の普通預金通帳（以下、「預り口座」という。）の写しを取得し割当予定先の業務執行組合員であるモダンパス合同会社が管理する預り口座に本新株式の払込金額（約200百万円）及び本新株予約権の発行に係る払込金額（約3百万円）に相当する203百万円を上回る残高が2022年12月22日時点で確保されていることを確認しております。当社はモダンパス合同会社に対して預り口座で管理している資金は本新株式及び本新株予約権の発行に係る払込で使用される出資金であることを、2022年12月22日にモダンパス合同会社の代表取締役である勝山博文氏より当社常務取締役経営管理本部長である信岡孝一が口頭にて確認するとともに、預り口座に振り込まれた資金が割当予定先の出資者の自己資金による振り込みであることを確認いたしました。

（後略）

6. 17 ページ

【訂正前】

1. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

6. 割当予定先の選定理由等

(5) 割当予定先の実態

①プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合

当社は、割当予定先であるプログレッシブ2号ファンド及びプログレッシブ2号ファンドの業務執行組合員であるモダンパス合同会社（以下、「割当予定先等」という。）について、割当予定先等の役員又は主要株主（主な出資者）が暴力団等の反社会的勢力であるか否かについて、独自に専門の第三者調査機関である日本信用情報サービス株式会社（住所：神奈川県横浜市中区山下町2番地 代表取締役：小塚直志）に調査を依頼し、同社より調査報告書を受領しました。当該調査報告書において、当該割当予定先等の関係者が反社会的勢力とは何ら関係がない旨の報告を受けております。上記のとおり割当予定先等、割当予定先等の役員又は主要株主（主な出資者）が反社会勢力とは一切関係がないことを確認したことから当社取締役会としても、割当予定先として妥当であると判断しており、別途その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しています。

（後略）

【訂正後】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

6. 割当予定先の選定理由等

(5) 割当予定先の実態

①プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合

当社は、割当予定先であるプログレッシブ2号ファンド及びプログレッシブ2号ファンドの業務執行組合員であるモダンパス合同会社（以下、「割当予定先等」という。）について、割当予定先等の役員又は主要株主（主な出資者）が暴力団等の反社会的勢力であるか否かについて、独自に専門の第三者調査機関である日本信用情報サービス株式会社（住所：神奈川県横浜市中区山下町2番地 代表取締役：小塚直志）に調査を依頼し、同社より調査報告書を受領しました。当該調査報告書において、当該割当予定先等の関係者が反社会的勢力とは何ら関係がない旨の報告を受けております。上記のとおり割当予定先等、割当予定先等の役員又は主要株主（主な出資者）が反社会勢力とは一切関係がないことを確認したことから当社取締役会としても、割当予定先として妥当であると判断しており、別途その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しています。

（後略）

7. 18 ページ及び、19 ページ

【訂正前】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

7. 募集後の大株主及び持株比率

(1) 本新株式の第三者割当増資後

募集前 (2022年9月30日現在)		募集後 (新株式の第三者割当増資後)	
株式会社ホスピタルネット	12.34%	株式会社ホスピタルネット	15.86%
株式会社ビッグサンズ	6.72%	<u>プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合</u>	11.22%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	2.22%	株式会社ビッグサンズ	5.58%
村田 三郎	2.21%	株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1.84%
北浜 I R ファンド第	1.81%	村田 三郎	1.83%

3号投資事業有限責任 組合 無限責任組合員 北浜キャピタル・アセ ット・マネジメント株 式会社			
塚田 晃一	1.34%	北浜 I Rファンド第3 号投資事業有限責任組 合 無限責任組合員北 浜キャピタル・アセ ット・マネジメント株式 会社	1.50%
五十嵐 博明	1.29%	塚田 晃一	1.12%
原 信夫	1.26%	五十嵐 博明	1.07%
株式会社S B I証券	1.23%	原 信夫	1.04%
木村 敏数	1.20%	株式会社S B I証券	1.01%

(2) 本新株式及び本新株予約権の第三者割当増資後

募集前 (2022年9月30日現在)		募集後 (新株式及び新株予約権の第三者割当増資後)	
株式会社ホスピタルネット	12.34%	プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合	19.79%
株式会社ビッグサンズ	6.72%	株式会社ホスピタルネット	14.33%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	2.22%	株式会社ビッグサンズ	5.04%
村田 三郎	2.21%	株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1.66%
北浜IRファンド第3号投資事業有限責任組合 無限責任組合員北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社	1.81%	村田 三郎	1.66%
塚田 晃一	1.34%	北浜IRファンド第3号投資事業有限責任組合 無限責任組合員北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社	1.36%
五十嵐 博明	1.29%	塚田 晃一	1.01%
原 信夫	1.26%	五十嵐 博明	0.96%
株式会社SBI証券	1.23%	原 信夫	0.94%
木村 敏数	1.20%	株式会社SBI証券	0.91%

(注) 2022年9月30日現在の株主名簿に基づき記載しております。募集前の持株比率は、2022年9月30日現在における発行済株式総数を基準とし、募集後の持株比率は2022年9月30日現在における発行済株式総数に本新株式の総数を加味して算出してあります。持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

【訂正後】

I. 第三者割当による新株式及び第2回新株予約権

7. 募集後の大株主及び持株比率

(1) 本新株式の第三者割当増資後

募集前 (2022年9月30日現在)		募集後 (新株式の第三者割当増資後)	
株式会社ホスピタルネット	12.34%	株式会社ホスピタルネット	15.86%
株式会社ビッグサンズ	6.72%	プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合	11.22%
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	2.22%	株式会社ビッグサンズ	5.58%
村田 三郎	2.21%	株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1.84%

北浜 I R ファンド第 3 号投資事業有限責任組合 無限責任組合員北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社	1.81%	村田 三郎	1.83%
塚田 晃一	1.34%	北浜 I R ファンド第 3 号投資事業有限責任組合 無限責任組合員北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社	1.50%
五十嵐 博明	1.29%	塚田 晃一	1.12%
原 信夫	1.26%	五十嵐 博明	1.07%
株式会社 S B I 証券	1.23%	原 信夫	1.04%
木村 敏数	1.20%	株式会社 S B I 証券	1.01%

(2) 本新株式及び本新株予約権の第三者割当増資後

募集前 (2022年9月30日現在)		募集後 (新株式及び新株予約権の第三者割当増資後)	
株式会社ホスピタルネット	12.34%	プログレシブ・インテリジェンス 2 号投資事業有限責任組合	19.79%
株式会社ビッグサンズ	6.72%	株式会社ホスピタルネット	14.33%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口 4)	2.22%	株式会社ビッグサンズ	5.04%
村田 三郎	2.21%	株式会社日本カストディ銀行 (信託口 4)	1.66%
北浜 I R ファンド第 3 号投資事業有限責任組合 無限責任組合員北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社	1.81%	村田 三郎	1.66%
塚田 晃一	1.34%	北浜 I R ファンド第 3 号投資事業有限責任組合 無限責任組合員北浜キャピタル・アセット・マネジメント株式会社	1.36%
五十嵐 博明	1.29%	塚田 晃一	1.01%
原 信夫	1.26%	五十嵐 博明	0.96%
株式会社 S B I 証券	1.23%	原 信夫	0.94%
木村 敏数	1.20%	株式会社 S B I 証券	0.91%

(注) 2022 年 9 月 30 日現在の株主名簿に基づき記載しております。募集前の持株比率は、2022 年 9 月 30 日現在における発行済株式総数を基準とし、募集後の持株比率は 2022 年 9 月 30 日現在における発行済株式総数に本新株式の総数を加味して算

出しております。持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

8. 27 ページ

【訂正前】株式会社TBグループ 募集株式の発行要項

1. 募集株式の種類 当社普通株式 2,127,6000株

【訂正後】

株式会社TBグループ 募集株式の発行要項

1. 募集株式の種類 当社普通株式 2,127,600株

9. 28 ページ

【訂正前】

株式会社TBグループ 第2回新株予約権発行要項

5. 募集の方法及び割当先

第三者割当の方法により、以下の個数を割り当てる。

プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合 13,513 個

9. 本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額又はその算定方法

- (1) 各本新株予約権の行使に際して出資される財産は金銭とし、その価額は、行使価額に割当株式数を乗じた額とする。
- (2) 本新株予約権の行使に際して出資される当社普通株式1株当たりの金銭の額（以下、「行使価額」という。）は、金 141円とする。

【訂正後】

株式会社TBグループ 第2回新株予約権発行要項

5. 募集の方法及び割当先

第三者割当の方法により、以下の個数を割り当てる。

プログレッシブ・インテリジェンス2号投資事業有限責任組合 13,513 個

9. 本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額又はその算定方法

- (1) 各本新株予約権の行使に際して出資される財産は金銭とし、その価額は、行使価額に割当株式数を乗じた額とする。
- (2) 本新株予約権の行使に際して出資される当社普通株式1株当たりの金銭の額（以下、「行使価額」という。）は、金 148円とする。

10. 32 ページ

【訂正前】

株式会社TBグループ 第2回新株予約権発行要項

22. 本新株予約権の払込金額及びその行使に際して出資される財産の価額の算定理由

一般的な価格算定モデルであるモンテカルロ・シミュレーションによる算定結果を参考に、本新株予約権1個当たりの払込金額を204円とした。さらに、本新株予約権の行使に際して払込をなすべき額は第9項記載のとおりとし、行使価額は、141円とした。

【訂正後】

株式会社TBグループ 第2回新株予約権発行要項

前略

22. 本新株予約権の払込金額及びその行使に際して出資される財産の価額の算定理由

一般的な価格算定モデルであるモンテカルロ・シミュレーションによる算定結果を

参考に、本新株予約権 1 個当たりの払込金額を 204 円とした。さらに、本新株予約権の行使に際して払込をなすべき額は第 9 項記載のとおりとし、行使価額は、148 円とした。

以上